

いっぱいあそんで いっぱいおはなししよう

子どもの周りには、ドキドキ ワクワクがいっぱいあります。
今しか感じられないものに寄り添いながら
自然や文化、人や社会とかかわる姿を温かく見守ってください。



ありがとう～！

人や社会との
つながり

ほんとうだね、
おいしそうだね！

水たまり
はっけん！

あの雲、
おいしそうだよ！

自然のおもしろさへの気付き



これ、ください

200えん ですよ

ABCDEFGH～！

健康な
心と体

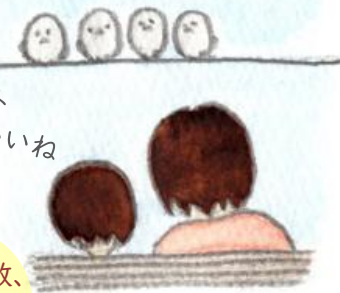
のびのびとした表現



あのハト
かわいいね

文字や数、
形などの
かわり

なんわいるんだらう



ゴトゴト
ゴトゴト

ふしぎな
もりにゃ...



ピューン



子どもの“これなあに？・なんで？”は
あたりまえのようだけど その先に学びがあります

子どもの学びを見つめる

入学前に「～ができないと、いけないのだろうか?」と不安になることもあると思います。保護者の皆さんに大切にしていきたいことは、“できるか できないか”ではなく、お子さんが様々ななかかわりの中で見付けた“楽しさ”や“ふしぎ”などに寄り添うことです。

大人から見ると、ぐちゃぐちゃに見えるもの…例えば、ぐるぐるとだけ描かれた絵や無造作に積み重ねられたかのような箱…そういったものにも、その子なりの意味や価値があります。

お子さんが、何を見て、何を感じているのか…きっとそこには、大人には味わえない子どもなりの発見や驚きなどといった学びがあります。そういった 実体験 や 感覚 が学校教育での学びのスタートとなります。

ここに示したポイントは、4月からはじまる学校生活のためだけでなく、お子さんの 心と体の健やかな成長のためにも大切なものです。

子どもは毎日の 小さな 小さな 積み重ねによって、少しずつ、それでも確かに成長しています。今日に 至るまでも 小さな「できた!」をお子さんと喜び合いながら過ごされていると思います。

時に「何で、できないの!」「早くして!」と ついイライラしてしまうこともあります。そんな時は息を一つはいて、今は成長の過程であると、ゆったりお子さんを見つめてみてください。そこには小さな学びのきっかけが、きっとあるはずです。

お子さんとのかかわりのヒントとして…

たくさん遊ぼう

様々な遊びを通して、体の諸機能の調整力が大きく育ちます。スポーツだけでなく、散歩や手伝いなど、**様々な動き**をすることも大切です。遊びによって様々なものに出会うことで心も体も成長させ、豊かな情操を培います。

たくさんお話をしよう

日常の出来事を家庭で話し合うことは、子どもの心の安定を生みます。

また、大人とダジャレやしりとりなどの**言葉遊び**をすることも、子どもの学ぶ気持ちを育てます。気軽に組みんでみましょう。

本に親しもう(読み聞かせなど)

絵本などの読み聞かせは、とても大切です。

- ① **新しい世界**を知ります。
- ② **新しい言葉**を学びます。
- ③ **集中して**話を聞けるようになります。

読み聞かせは、知的好奇心を刺激するだけでなく、心のふれあいを生む時間にもなります。

「早寝早起き朝ごはん」って大切

朝食は一日の元気の源になります。朝食をとらないことは無気力や疲れやすさにつながります。朝食はしっかりと食べさせましょう。

また、睡眠時間を十分に確保することが大切です。5歳から7歳くらいに必要な睡眠時間は、およそ10時間半～11時間です。

「自分でやる!」を見守る

同じことやできることの繰り返しのの中では、その子らしさを伸ばすことはできません。お子さんがいろいろなことに**チャレンジする機会**をつくり、その様子を見守りましょう。

また、幼児であっても、1年生であっても、家族の一員として**様々な役割**を担うことが大切です。

「お片付け」の大切さや楽しさの共有

片付けは後始末だけでなく、次への準備でもあります。準備は**学習の基礎**です。小学校では、自分の道具は自分で管理します。

○後片付け

遊びの道具・衣服などを整理整頓する気持ちよさを、お子さんも感じられるようにかかわりましょう。

○次の日の準備

誰でも最初は、自分一人で準備をするのは難しいので、おうちの人が確認をしましょう。

そして、少しずつできることが増えていくようにお子さんを温かく見守りましょう。

「あいさつ」…人と人をつなげる言葉

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「いただきます」「ごちそうさま」「おやすみなさい」「ありがとう」「ごめんなさい」といった**挨拶・返事・感謝等の言葉**は、人と人とのつながりを豊かにします。